関中央ロータリークラブ

2019−2020 WEEKLY REPORT

例会日：毎週木曜日 18 時 30 分　　例会場：関観光ホテル　住所：岐阜県関市池尻 91-2
事務局：関市西本郷通 5-2-53　　TEL(0575)24-7332　　FAX(0575)23-5278
会長　吉田和也　　副会長　高井良祐　　幹事　土屋敏幸　　クラブ会報委員長　長谷川修

2019～2020 年度　関中央ロータリークラブ会長テーマ

「One for all, All for one.

協力しあい成長するロータリー！」

ロータリーは世界をつなぐ

４つのテスト　１.真実かどうか　２.みんなに公平か　３.好意と友情を深めるか　４.みんなのためになるかどうか

本日のプログラム　　第 1991 回例会　2019 年 10 月 3 日（木）
卓　話　　ＲＩ2630 地区　会員増強委員会委員　亀井　和彦様
テーマ　　「会員増強について」　／　担当　会員基盤増強維持委員会

前例会の記録　第 1990 回　2019 年 9 月 26 日(木)
卓　話　関市役所　都市計画課
　　　　課長補佐　川合　貴士様
テーマ　「建築物耐震診断のすすめ」
担　当　ロータリー情報委員会

＊ロータリーソング「それでこそロータリー」斉唱

＊お客様の紹介

関市役所　都市計画課　課長補佐　川合　貴士様

＊会長あいさつ　吉田和也会長

後ほど「建築物耐震補強のすすめ」というテーマで卓話を頂戴いたします。建築士の大先生方の前で非常にやりにくいかもしれませんが、宜しくお願い申し上げます。

さて、昨日、社会奉仕・環境保全委員の川上さんと関市健康福祉部子ども家庭課に、今年度の米の配布の事業についてご挨拶行ってまいりました。皆様、あまり周知してみえないかもしれませんので、関中央ロータリークラブの会員として、共有して頂きたいという思いからお話させて頂きたいと思います。この事業は、今年で 2 回目の事業となりますが、この事業立ち上げのきっかけはと言いますと、おととしの事となりますが、当時の社会奉仕、環境保全委員長であられた川上さんが、関市の貧困家庭の実情について調べられて、その貧困家庭の現状について大変憂えられて、何かロータリーで、できる事はないかと、当時の波多野篤志会長エレクト、西田ロータリー財団委員長と共に、市役所の担当の方々と、デスカッションを行い、NPO の子ども食堂に米を提供できないかと様々な皆様のご意見の中、この事業の立ち上げを決定されました。昨年になるかとは思いますが、クラブの例会にも、子ども家庭課課長　島田美佳様に卓話をお願いし、「一人親家庭子ども支援」のテーマで現在の関市の現状と課題、取り組みをお話頂き現在の状況を勉強させて頂きました。昨年度

の第１回目の配布事業は財団の申請が間に合いませんでしたが、今年度の事業は財団の補助金を申請しての事業となっており、「米作り、農業体験をすることにより、子ども達の環境に対する意識の向上を図る、又食育を通じて、自然環境の維持や自給自足の大切さを学ぶ。」という趣旨の下、日にち的には前年度になりますが、今年度の事業として、5 月 25 日に田植え体験と、メダカすくい、バーベキューを小川会員さんの田んぼと、会社をお借りして行いました。又、11 月 3 日の森林整備例会にも、子ども達に参加してもらい、里山の整備を体験してもらい、又、田植え体験をしたお米を、おにぎりにして食べてもらい、自然環境の維持や自給自足の大切さを学んで頂こうと思っております。

基本的に、この事業は、こちらからはお米を提供させて頂き、配布は市役所の方で行っていただくという事ですが、前年度の配布事業の際には、先着 100 名の配布予定の所、お越しになられた方が 152 人になられたとの事と、配布のボランティアで参加された、ヘルシーライフせき様や、子ども達に新米のおにぎりを食べて頂いた事もあり、当日配布のお手伝いに、参加された皆様は途中でお米が足らなくなったりと対応に大変なご苦労をされたと伺っております。又、当日、配布に余ったお米は、市役所の采配により、保育園や、子ども食堂に使って頂いたようです。

今年度も、市役所として、この事業を広報に掲載し、又１人親家庭の方を対象とした市役所からの配信のあんしんメールで皆様にお知らせして宣伝して頂けるとの事です。子ども家庭課も、この事業は、今後末永く継続してもらいたいとおっしゃってみえました。その為に、備品等、予算を付けて用意していくと言われました。こちらも、もちろん今後も継続致しますので、宜しくお願いしますと、お話してきました。今後、関中央ロータリークラブの事業の中の、新たなもう一つの柱となる事業になると思いますので、皆様のご理解、ご協力をお願い致します。
今後の予定として、日程はまだ確定しておりませんが、市長に贈呈セレモニー、又、市役所にて配布事業を行いますので、日程が決まり次第後ほどご案内をさせて頂きますので、皆様のご協力をお願い致したいと思います。

＊卓話　関市役所　都市計画課
課長補佐　川合　貴士様
テーマ「建築物耐震診断のすすめ」
（資料より抜粋）

明日、地震が起こると考えたことありますか？中央防災会議は、「東海」「東南海」「南海」の 3 地震が同時に発生した場合の被害想定を発表しました。最悪の場合、死者約 2 万 4700 人、全壊家屋約 96 万棟、経済被害　約 81 兆円とのことです。

地震が発生する確率について考えてみましょう
東海地震 87%　東南海地震 60%　南海地震 50%

阪神淡路大震災 1995 年 1 月 17 日 5 時 46 分
規模：マグニチュード 7.3　最大深度：震度 7
死者 6,434 名、行方不明者 3 名、避難人数 30 万人以上、住宅被害全壊：104,905 棟、半壊：144,274 棟
損壊：390,506 棟、火災被害：6,148 棟、被害総額：約 10 兆円規模

阪神淡路大震災犠牲者の死因
亡くなられた約 80%の方が家屋の倒壊、家具の転倒によるものです。

東日本大震災 2011 年 3 月 11 日 14 時 46 分
規模：マグニチュード 9.0　最大深度：震度 7
死者：15,217 名　行方不明者：8,666 名
避難人数：109,672 名　住宅被害全壊：98,005 棟
半壊：51,885 棟　損壊：276,618 棟
火災被害：261 棟
地震エネルギーは関東大震災の約 45 倍、阪神淡路大震災の約 362 倍となる。

東北地方の地震の歴史
宮城県沖・福島県沖・茨城県沖の地震は周期的に発生する地震で想定されていた。しかし、宮城県沖地震平均発生間隔 31 年、福島県沖地震平均発生間隔 400 年、茨木県沖地震平均発生間隔 21 年であり、3 つの地震の連動は想定外。東北地方太平洋沖地震は、M9.0 という世界最大規模の地震であったが、家屋の倒壊などの「揺れによる被害」が少ない結果となった。
理由１　木造等低層建築物に被害が少ない地震の揺

れ方（地震波）だった。

理由２　東北地方は耐震性の高い建物が多かった。

①東北地方は地震が多い地域の為、自治体独自の厳しい耐震基準を設けている。

②東北地方の家屋は、多雪地域の為、雪害対策が取られていて、屋根を軽く、窓を小さくするなどの構造が地震にも強いものになっていた。

③2008 年に発生した岩手・宮城内陸地震等の後、損傷を受けた家屋の建て替えや耐震化がすすめられた。

木造住宅の歴史と強度

耐震基準	耐震の考え方	耐震強度
旧耐震基準	震度5程度の地震に耐え得る **地震の為の設計を殆どしていなかった。** **大地震で倒壊する可能性大**	危険
昭和56年5月		
新耐震基準	震度6強程度の地震に耐え得る **耐震性は強化されたが法律的な拘束力がない** **耐震性のない建物が数多く存在している**	要注意
平成12年		
新新耐震基準	震度6強程度の地震で倒れない **地盤、基礎、壁の配置など細かく規定している**	一応安全

耐震補強は三つのアクションで進めます。

建物が地震に対してどの程度の強さを持っているかを調べます。(※1) **耐震診断**には(※2) **簡易診断**と、(※3) **一般診断、精密診断**があります。

耐震診断の結果にもとづいて具体的な補強方法を決めます。

耐震補強設計に従って実際に工事が行われます。

改修事例と費用のめやす

耐震改修工事をしましょう

リフォームや増改築の機会にあわせて耐震改修を実施することを是非検討して下さい。それぞれ個別に行うよりも効率よく安心も手に入れることができます。

※耐震改修費用は、住まいの古さや規模、工法によって異なります。一般的には100万円から200万円程度かかる場合が多いことを一つの目安としてください。

建築物耐震診断補強助成事業

〇建築物耐震診断補助事業

①木造住宅耐震診断（無料）

（昭和 56 年 5 月 31 日までに着工の住宅）

⑴関市都市計画課へ申請

⑵審査の上「診断決定通知書」を交付

⑶「耐震相談士」と調整、調査日時を通知

⑷図面・写真をもとに、相談士が現地調査

⑸耐震性の評価・補強計画実施

⑹診断結果・補強内容の報告書を説明

診断結果について

〇耐震性能を「評点」で表示

1.5 以上　倒壊しない

1.0～1.5　一応倒壊しない

0.7～1.0　倒壊の可能性がある

0.7 未満　倒壊の可能性が高い

→ 補強必要

②建築物耐震診断補助

補助金　最高 100 万円

（対象経費 150 万円未満：2/3 補助）

補助金申込み方法

〇工事の着工前に申込みが必要

〇お問い合わせは電話または窓口へ

補助金の交付要件

〇市内の戸建て非木造建築物

〇昭和 56 年 5 月 31 日以前に着工建築物

③木造住宅耐震補強工事費補助

（令和元年度末まで限定の補助額の上乗せ有り）

耐震補強工事までの流れ

⑴評点 1.0 未満は補強工事をお勧め

⑵「耐震相談士名簿」を閲覧し、相談士を選択

⑶相談士と個別に補強業務の契約

⑷再度現地調査、補強計画・実施設計

補助金額　通常は・・最高 115 万円

対象工事費　　120 万円以下：61.5%＋15 万円

120 万超　　：11.5%＋75 万円

のところを令和元年度末までに限り工事費の 80%で最高 200 万円を補助

補助金申込み方法

〇工事の着工前に申込みが必要
〇お問い合わせは電話または窓口へ
補助金の交付要件
〇評点：1.0 未満を 1.0 以上とする補強工事

④簡易な補強工事への補助について

補助金額　通常は最高 84 万円
（工事費 120 万円未満　7/10）
のところを令和元年度末までに限り工事費の 70%で最高 120 万円を補助
補助金申込み先・申込み方法
〇工事着工前に申込み
〇申込み方法は、電話または窓口へ
補助金の交付要件
〇評点 0.7 未満を 0.7 以上とする補強工事

⑤所得税の特別控除について

確定申告時に「市発行の証明書」添付で耐震改修費用の 10%相当額（20 万円を上限）を所得税額から控除（④簡易耐震工事は対象外）

⑥固定資産税額の減額措置について

工事完了後 3 カ月以内に「市発行の証明書」添付し、税務課へ申告
固定資産税額が一定期間 1/2 に減額
（120 ㎡まで・④の簡易補強工事は対象外）

＊9 月度ＩＧＭ報告

レポーター　伊佐地　司君
先週の 9 月 20 日（金）18 時 30 分から味の孫六さんで開催しました。
メンバーは土屋さん、大藪さん、後藤さん、藤村さん、波多野源司さん、佐藤さん、山本さん、広瀬さん、尾崎さん、伊佐地の 10 名でした。
広瀬さんから参考資料を提供して頂きまして、ロータリークラブとライオンズクラブについて教えて頂きました。例えば、ロータリークラブの結成が 1905 年に対しライオンズクラブは 1917 年であること、発祥地が同じシカゴであること、会員数はライオンズクラブの方が多いこと、ロータリークラブの代表的な奉仕活動であるポリオプラスキャンペーンに対し、ライオンズクラブの活動は視力保護と盲人への福祉だそうで、これはヘレン・ケラー女史に影響を受け、設立当初から続けられていることなどでした。ベテランの会員の方々はご存知のことだったのかもしれませんが、私は初めて聞くことが多く興味深い内容でした。
またロータリーでは基本的に会員同士を呼ぶとき「〇〇さん」ではなく「〇〇くん」で呼ぶことが正式だと教えて頂きましたが、さすがに大先輩を「くん」とは呼べませんので「さん」で勘弁して頂こうと思いました。
当日は皆さんお酒も進み、健康のことやら仕事のことなど色んな話題で盛り上がり、和気藹々の雰囲気のうちにお開きとなりました。私もビールと日本酒をしっかり頂きまして、楽しい時間を過ごさせて頂きました。

＊出席委員会

会員数 34 名、本日の出席 19 名です。

＊ニコボックス委員会

・会長・副会長・幹事
都市計画課　課長補佐　川合貴士様　卓話宜しくお願いします。
19 名のご投函ありがとうございました。

＜次例会の案内＞

第 1992 回　2019 年 10 月 17 日（木）
会員卓話　加納　淳至会員
テーマ　　「ものづくり」（仮）
担　当　　職業奉仕委員会